

宝木地区公民館だより



10月27・28日(土・日)《宝木地区文化祭》開催

宝木地区文化祭
文化祭実行委員長
山根 哲博

第38回宝木地区文化祭は、去る10月27、28日に開催されました。天候に恵まれ2年ぶりの晴天で、人出が多かったです。また準備と片付けに携わった各委員、スタッフの皆様、改めて感謝したいと思います。沢山の方が餅をつけていて、その中でもさすがN夫婦だ。いい音、いいリズムだ。あつという間に餅つきスタッフ達は12日の餅をつき終えた。天晴れ!!お疲れ様。さて抽選、餅をついてくれたN君に特等が!! 神様はちゃんと見てくれていたぞ。

反省会、欲しい作品の時は注文箱、譲ってもいい作品には入札箱を作っては? 個人情報 の漏洩になるから: X。また作品の中で最優秀作品賞を作ったらと提案したら、宝木の気質には合わない、逆に出

品数が減るぞと一蹴された。へーそうだったのか。

文化祭へ参加して
ゆいまゝる 岡田 輝代

ゆいまゝるの体操教室へ通い始めて、初めて宝木地区文化祭の芸能発表へ参加しました。

毎月2回の練習は、先生の指導で体調管理しながら、音楽に合わせて軽快に、というわけにはいきませんが、楽しく体を動かしています。

リハーサルでは、いつものように音楽に合わせる事ができませんでした。本番当日は、ターミー先生のパフォーマンスとかけ声で、とても上手にできたように思いました。ラストに舞台を一周して手を振る事が、恥ずかしかったのですが、全員が笑顔で歩いたらウキウキして楽しめました。

不真面目な生徒ですが、今後細く長く続けて行きたいと思えます。

わくわく子ども事業
ふれあい学習

高橋 和加

10月の澄みわたる秋晴れの中、親子でふれあい学習に参加しました。この日は宝木と酒津の子ども会も共同で参加し、合わせて約50人が交流しながら学びました。



初めに到着した「鳥取砂丘こどもの国」では、ゆったりとした自然の中で紅葉やドングリ拾いを楽しみ、子どもたちと一緒に秋の訪れを感じる事ができました。他学年と交流することができたので、年長の子が年少の子を助けるなど、普段は見られないような微笑ましい様子が見られました。また、親同士も日ごろの悩みなどを話し合い、

貴重な交流の時間となりました。



次に訪れたのは「山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館」。学芸員さんの丁寧な説明を聞きながら、山陰海岸ジオパークについての展示を見学しました。一番驚いたのは、ジオパークの地質調査によって世界で初めて「地球の北極と南極が今とは逆向きだった」と証明されたこと。鳥取から一気に宇宙へと思いを馳せました。ジオパークの自然に触れながら、その地形や生

き物について親子で楽しく学ぶことができ、思い出深い一日となりました。来年もぜひ参加したいと思います。

健康部

健康ウォークに参加して
(串垣〜宝木海岸周遊コース)

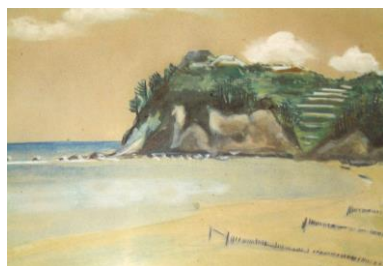
米田 雅江

当日はよく晴れていて、ウォーキング日和でした。私は3歳と6歳の孫そして主人の4人で参加しましたが、下の孫は歩くことが出来るのだろうかと少々不安でした。宝木地区公民館を出発し、日光部落公民館で休憩し、浜に向かって歩き出すと、大きなソーラシステ



ムが見え、すぐ近くに住んでいるのに知らなかつたです。海に着くと、浜

は30年前と大きく異なり狭くなっていました。遠くに「招き山」が見え、昔主人の兄が描いていた絵そっくりでした。少しすると、現在



は無くなっている塩小屋の近くを歩いて河内川の土手に出ました。

ゴールまで残すところ1キロメートルぐらいになったので、皆さんも心配していた孫も元氣よく帰りました。孫たちは珍しい貝を沢山拾って宝物にしています。有意義な時間を過ごしました。

健康部

環境視察に参加して

山本 正博

今回は3か所の視察に参加しました。地球上に豊富にある水素を、次世代エネルギー

として有効活用し、普及に努めている「とっとり水素学習館」毎日の生活から出るごみを処理する「神谷清掃工場可燃物処理施設」、消費者に安全安心な商品を届けるため、企業努力を惜しまない「マルサンアイ鳥取工場」です。いずれも私たちの生活に直結した問題であり、分かりやすい学習視察でした。

水素工
ネルギー
は、石油
輸入に頼
らず自給
自足でき
る次世代
型夢の工
ネルギーとして期待されてい
ます。一刻も早く鳥取の地か
ら水素の暮らしで環境に優し
く快適な未来の暮らしを届け
たいものです。



次は、「ゴミの分別と焼却は
ノルウエーに聞け」という資
料を見た後、訪れた。ノルウ
エーでは国を挙げて分別方法

も幼稚園児から教え、ゴミの
焼却熱を発電に利用している
ため、ゴミが足り
ず、近隣
国から輸
入し資源
確保をし
ていると
いう。実
に98%
の再資源と聞き驚くばかりで
ある。日本はゴミを一番多く
出し、ダイオキシン排出量も
世界一だとか。無駄な物は買
わず、過剰な包装は断り、長
く使えるものを買ってゴミを
減らすことを心掛けたいもの
です。



最後に食の安全が問われる
中、鳥取のきれいな水を使い
豆乳を作っているマルサンア
イは排水の処理を万全にし、
LNG液化天然ガスの基地導
入で二酸化炭素の排出を3割
少なく硫酸酸化物や、ばい煙
を排出しない施設となってい
ました。商品に使用する紙パ

ツクは再生化されたものを、
排出の損
紙は、リ
サイクル
にと環境
にやさし
い取り組
みを総合
的にに行っ
ているマ
ルサンアイの商品をその日か
ら応援したくなったのは、私
だけだったでしょうか。



女性部

女性料理教室に参加して

河口 敏子

1月「女性部の料理講習」に
参加しました。毎年、近所の

人から長
ネギを沢
山もらい
ますが、
炒めたり、
すき焼き、
鍋料理等
しか思い



つきません。何かに使い道は
ないかと思っていたところし
シピが、白ネギを使った牛乳
ポタージュ、ソーセイジ生地
で包んだ白ネギのソテー、白
ネギのチャンプルー風の3品
でした。

スープは、どうして作るの
だろうかと？白ネギを湯がい
てスピードカッターで混ぜ、
ネバネバを出し水を入れ作り、
青い部分は炒めてスープの上
の飾りにしました。他の2品
も作った事がなく参考になり
ました。先生が作って来て下

さった鳥取県西部の郷土料理
《いただき》もテーブルに加
わり、和やかに会話をしなが
ら試食しました。

帰ってから早速作り、主人
にどう?と聞いたたら、「まあ
な」の一声、ガツカリ、高齢
になつたら、めんどくさい料
理は作れません。白ネギも
色々料理に使えるのだと感心
しました。また参加したいと
思います。

じげ自慢

宝木祭の見解

小塩 信親

宝木祭と言うと、行列を思
い浮かべる人が多いと思う。
しかし、私は獅子舞い「本舞
い」と「神輿」を紹介したい。
毎年三月(当時)になると
夕刻若者が公民館に集まり稽
古が始まり祭りを迎える。



獅子舞いの本舞いを見るチ
ャンスは、宵祭りから祭当日
までに二回しか無く宝木の人
たちも見た事の無い人もいる
のでは無いか?一回目は宵祭
りの早朝母木神社で村に繰り
出す前に行われる、これによ
り祭りが始まる。二回目は祭
り当日大澤宅前で行われる、
一回目は新人が、二回目はベ
テランが獅子頭をあやつる。
チン、ドンの鉦と太鼓の音
で始まりやがて笛が追いかけ
る。

どこか幽玄なメロディの中

で、ゆっくりではあるが力強
い重庄な舞が見られる。

神輿は宵祭りの夕方、白丁
に衣変えをした氏子達が三々
五々母木神社に集まる。

宮司の祭詞の後、神輿の装
飾が取り外される。いよいよ
神輿のスタートである。

神輿は氏子の家が有る所へ
は、細い路地にも入り込んで
行く、その為、宝木の神輿は
一般の神輿に比べて担ぎ棒の
横棒が極端に短い、広い通り
に出るといつとはなく神輿が、
上下左右に大きく揺すられる。

神輿の花形である、練りが
始まる多くの場合、担ぎ手の
家の近くで行われる事が担ぎ
手の特権か?神輿は最後に国
道を渡る。国道を渡る青信号
の間、ここぞとばかり最大の
練りが交差点の真ん中で行わ
れる。ヘッドライトに神輿が
浮かぶ、帰りの交差点でもし
かり。このような力強い練り
があるから壊れるのを恐れ、
事前に装飾が外されるのだ。
そんな本舞いと神輿です。

皆さんもチャンスがあれば
是非見て下さい、氏子の方は
参加もしてみてください。



編集後記

下期公民館だよりが
来上がりました。発行す
るにあたり原稿を寄せ
て頂いた皆様、事業に参
加して頂いた皆様あり
がとうございました。